

213

手紙

特500

124



我等

いかに闘ふべきか

6.8.20

村不別

黒新パンフレット
第一輯

黒色労働新聞社 發行



* 0035139000 *

0035139-000

特500-124

我等いかに闘ふべきか

黒色労働新聞社

昭和6.8

AGC

函 369
 號 369
 永久保存

特500-124
 禁安 1-192

目次

發刊の意義とその任務……………一

現在の社會運動と自由聯合主義……………九

一九三一年に於ける自由聯合團體全國會議の任務……………二九

第五十九議會は何を議せんとしてゐるか……………三三

労働組合法案は如何に備ふべきか……………三六

本民衆の解放を担ひ一切の反動主義を粉碎せよ……………三六

社會民主主義と如何に闘ふべきか……………三六

他連は反戦闘争を如何に闘ふべきか……………三六

産業別線に沿つて組織運動に全力を結集しろ……………三四

工場職場にメーデー闘争のアジプロを集中せよ……………三八

日染ハンストの革命的意義を把握せよ……………四三

吾等はストライキ闘争を如何に闘ふべきか……………四八



序

「黒新」發刊一週年記念カンパニアのパンフ發行第一輯として、一ヶ年間の黒新主張を蒐集した。だが、その配列は號に順じたものでなく適當に配列した。

このパンフレットは初心者にとつては、可成り理解困難であらうが、然し精力的に熟讀理解する事が絶對に必要である。又この一つ一つを「研究題目」に捉へて、大衆的批判、研究會を活潑に開催し自由聯合主義の大衆化を圖るべきだ。

尙、このパンフレットに蒐集されたもの、内、未だ自由聯合主義實踐理論、並びに戰術、戰略が不十分にしか述べられてゐず、また失反闘争、青年、婦人運動、反政治運動、農村運動等々の數多くの問題が残されてゐる等の不満が指摘される。

黒新十三號から「黒新パンフレット發行基金參百圓募集」のカンパニアが決定され、今後理論的、啓蒙的パンフを交互に發行することになつた。又これは參百圓募集の完了を待たず、一回發行基金が集まれば直ちに發行する。従がつて漸次我々はそれ等の不備を充たし、自由聯合主義實踐理論の確立に向つて精力的に戦ひ抜く事を斷言する。

工場、農村、凡ゆる職場から黒新パンフレット發行基金參百圓募集のカンパを支持しろ！
自由聯合主義戰線擴大強化萬歲！

七月二十七日

黒色勞農新聞社



『黒色勞農新聞』

發刊の意義と

その任務

(五、七、一、發行
第一號)

全國の勞働者農民諸君！

今や我が國無産階級運動は重大なる危機に當面してゐる。かの總選舉の結果議會に於ける無産諸政黨の演じたる役割は、決して勞働者農民の利害を代表して闘われるものでなく、又議會そのもの、本質は決してかゝる利害を獲得し得られる所でないことがバクロされた。無産階級が與へられた選舉權の行使に狂奔せる間に、選舉權を與へた資本家地主政府は、金解禁を斷行し、産業合理化を強行して資本主義經濟の「行きづまり」打開の方法を、勞働者農民の搾取強化、負擔加重に向けてゐる。工場閉鎖、操業短縮に依る未曾有の失業者の大量的排出は、勞働者農民の生活を極度の飢餓線に墜しつゝある。

(1)

この資本の攻勢に對して、全労働者農民の生存権奪還の身を以ての反抗闘争は擴大し、日々決死的ストライキの波は活潑に、果敢に全國的にモリ擧がつてゐる。だが然しこの労働者農民の決死的闘争はことごとく惨敗してゐる。我々は今この事實に眼をそむけてはならない。それと共に資本家地主の組織的攻勢は益々兇猛化して來た。東京市に於ける「非常時災害警備總動員」先の市電争議に於ける催涙ビストルの使用その他、戰闘的労働者農民に對する露骨なる迫害投獄、または組織の破壊等々、かくて彼等は自らの階級性を明確に把握し、一切の合法性を蹂躪し、労働者農民の反抗に對して彼等自ら非合法的手段で、暴壓の極りをつくしてゐる。

かゝる闘争の尖鋭化、労働者農民の決死的闘争に對して、労農黨、大衆黨、社會民衆黨に至る一切の無産諸政黨は、尖鋭化し激化する労働者農民の闘争の方向を政黨運動のドロ沼の中に轉換没入せしめ、解放戦線を徒らに紛争混亂せしめ、今や反動の役割を完全に助長する以外に何等の任務を持つてない。だが、かゝる階級的裏切りと偽瞞は、あます所なく今回の議會闘争に於いてその無能無力をバクソロされ、今や議會政治に對する懷疑は、無産政黨運動に對する不信となつて續々と表われ來つた。彼の全國農民組合の如きは政黨的に紛争分裂し、ために小作争議の惨敗となり、戦闘力のいちぢるしき減退となりし理由を以て、本年度大會に於いては全ての政黨から脱退することを決議した又最近相次いで捲き起つた、鐘紡、東京市電、星製藥等のゼネラルストライキは、政黨對立に依つて惨敗

し、妨害せられたばかりでなく、争議をことごとくブルジュアジーに賣渡されてゐる。そして彼等は只自黨の繩張争ひにのみ終始し、労働者農民のモリ擧がる闘争力を蹂躪しつゝあるのだ。以上の如く資本家地主政府の攻勢に對して、一切の社會民主主義は、最早労働者農民の正しき解放をはたし得るものでないことが明かにされた。また、ロシヤ國家資本主義を謳歌し、プロレタリア獨裁なる名の下に、民衆の上に新權力を以つて君臨せんとする共產黨、並びに全協の策動とも徹底的に戦はねばならぬ。

二

我が實踐的自由聯合諸團體は、かゝる重大なる危機に當面して、その階級的任務の益々重きことを感ずる。従つて新に發刊されんとする「黒色勞農新聞」の任務と意義は、其の實踐闘争にピツタリと密着して、闘争の裡から叫ばねばならない。そして「黒色勞農新聞」は左の如き任務が持たねばならない。

- 一般無産大衆への實踐闘争を通じての自由聯合主義昂揚のための闘争
- 共產黨、全協、及び社會民主主義政黨に對するバクソロ排撃のための闘争
- 一切の國粹反動黨、ファツシヨ黨に對する果敢なる撲滅のための闘争
- 神教、佛教、キリスト教等一切の宗教に對するバクソロ撲滅のための闘争、並びに無神論の昂揚

資本家地主政府の一切の反動政策とその機關の暴露排撃闘争

労働者農民絞殺のための一切の法律に對する粉碎闘争

全無産大衆への反政治的意識昂揚のための闘争

帝國主義戦争、軍國主義政策、並びに教育反對のための闘争

失業反對並びに産業合理化反對のための闘争

自聯農民組合、消費組合結成のための闘争

ソビエツト、ロシアに對するバクロ排撃闘争

觀念的自由聯合主義に對する徹底的克服清算、全國的自由聯合戦線確立強化のための闘争

黒色インターナショナル昂揚のための闘争

植民地、半植民地被壓迫民衆解放のための闘争

革命的労働者農民彈壓反對、並びに解放運動犠牲者救援のための闘争

等々の闘争に對する、正確果斷、そして敏活な報導、教育、組織、宣傳、煽動等の任務を精力的に執

拗に闘ひ續けることに依つて「黒色勞農新聞」は眞に全無産大衆の階級新聞としての任務を完全に遂行

し得、又當面せる無産階級運動の危機をよく克服し得る。そして自由聯合主義こそ唯一の解放への基

調であることを愈々明確にするであらう。

労働者農民の解放は労働者農民自身の力でなせ！

一切の政治運動を排撃し、經濟的直接行動で戦へ！

無産政黨のギマンをバクロ排撃せよ！

自由聯合戦線の全國的確立へ！

「黒色勞農新聞」發刊萬歳！

現在の社會運動と

自由聯合主義

(五、十一、一、發行)
第五號

最近勞農黨の陣營内に起つて居る解消問題を中心としての内紛問題は、其れ自身が直ちに我々自由

聯合主義者にとつて何等かの直接の意味を持つものではない。解消派の意見が如何に勞農黨の政黨第

一主義を痛撃し、或は其の反動性を指摘してゐるにせよ、解消派自體が、強權を認め、コンメンテル

ンの絶對的指導下に行動し、ロシアの強權國家資本主義を謳歌する運動である以上、其れは何の意味

(6)

に於ても労働者農民の眞の解放への努力でもなければ、望ましい発展でもない。だが、何故に解消問題は起らねばならなかつたか？其の發生の原因が何處にあるかを検討する時、其處に一つの重大なる最近の労働者農民運動の趨勢を指摘し得るのである。

解消派の河上、神道、上村を始め最初の解消論者細迫、労働黨大阪府聯の『労働黨即時戰闘的解消へ』の主張に説くところは、單に労働黨のみならず、社民大衆黨をも含めた一切の労働黨其のものに對する本質的認識の問題である。彼等は労働黨は結局闘争のドメーン場に於て反動化し、現在に於ては眞の革命的闘争から離れた改良的民主主義的のものであつて、社會××の大きな障礙であるとの理由で労働黨の即時解消を説くのである。

此のマルキシズム陣管内の議會主義、社會民主主義政黨に對する自己否定の批判は何故起らなければならなかつたか、其れはレーニズム理論の必ずしも必然的結論でない事は、如何に彼等が普選實施以來、山川均等の方向轉換論、全面的政治闘争への進出の名の下に、眞の革命闘争から遊離した議會主義的手淫を繰返して來たかによつて明かである。然らば此の自己否定は何故に起つたか。今や全労働解放戰を通じて著大なる特殊傾向は、刻一刻と激増する社會の根本的基礎の動搖と、労働一般大衆の急激なる革命化である。

◇
此の傾向は、漸く我國の戰闘的労働者農民階級をして、議會主義政黨主義に對する社民主義的幻

想から解放し、唯一の直接的經濟的、社會的闘争へと驅りたて、みる。今や我が國の全階級戦線に互つて、政黨、政治運動とは何かと云ふ問題が慎重に再吟味されつつある。

先に全國農民組合の一部に起つた『全農第一主義』各地のストライキ、小作争議に續出する労働者農民の直接的闘争の展開、各地に結成されつゝある争議共同闘争委員會を通じての、非政黨的闘争戦線の確立、此の我國解放運動の非政黨的の再轉換傾向は、吾等自由聯合主義者として、彼の馬鹿らしき方向轉換の左翼全面的戦線擴大論が、全日本の解放運動を歪曲して以來、何時かは其の議會主義よりの幻滅、サンヂカリズムへの轉向を豫め期待して居たものである。其爲めに無産政黨運動の徹底的暴露、全解放戦線の自由聯合主義化のために闘つて來た。だが然し、此現時の傾向は自由聯合主義者の活動に依つて齎されたと云ふよりも、寧ろ、現日本の經濟的、政治的、社會的條件が、持運んで來たものであると云はなければならぬ。従つて此の現時の非政黨的傾向と、自由聯合主義的非政治運動との間には、何等の直接的聯關性がないとも言へる。吾等がこの解消問題を論じ、例へ其の解消論の一部を肯定する事があるとしても、其れに鋭き自由聯合主義的批判を加へ、たゞ單に外部的條件の廣した非政黨的傾向を、其の自由聯合主義的内容に迄深め、全政治運動の否定、更に全權力、全中央集權主義の否定にまで押し進めなければならぬ。

(7)

◇

斯かる見地より現下の労働黨解消論を見、全戦線の非政黨的傾向を検討する時、今や我等自由聯合主義者にとつて、重大なる機會が來て居る事を悟らねばならない。何故に一時全日本の労働運動の主流に擴がつた自由聯合主義が、現在の如く其の影響力を薄弱にしたか、それには種々の原因があるがその一つは政治的經驗に於て諸外國より非常に遅れた日本の民衆が、ロシア革命を觀、英國労働黨の政權獲得を觀、普選の實施に遭つてブルジョアの奸計にかゝり、ボルセヴィキの宣傳に乗ぜられたといふ、多的條件にあると云へるのである。然るに今や其の發展の障礙であつた外的條件の一部が除去せられつゝある。此時自由聯合主義者の闘争は最も有効に驅使されなければならない。

然るに顧みて我等が戦線を見よう。我等は量的に、總同盟、總聯合、組合同盟等々より小である。だが我等はこの小なる力が分立し四散し、而もそこに何等の、聯絡も共同闘争もない事を見る時、果して自由聯合主義者は、此絶好の機會を充分に捉へて、發展さすべく準備が出來て居るか否かを検討しなければならぬ。我等は今此重大なる機會に際して全自由聯合主義労働組合の大同團結の必要を強調するものである。

一九三一年に於ける

自由聯合團體全國會議の任務

(六、一、一、發行
第七號)

昭和六年度に於ける、我自由聯合團體全國會議の主要闘争方針を決定するものは、一つは、五年度闘争の經驗を嚴密に自己批判すること、他の一つは客觀的狀勢、即ち國內的、國際的經濟危機の成熟、帝國主義戦争の切迫せる危機を充分に認識することに依つてなされるのである。

一

我等の五年度闘争の自己批判は、既に前號本誌第二面の記事の中に其の一部分が取扱はれて居るが、猶今此處に慎重なる再吟味を要する問題は、五年度我全國會議全線た互つて、可成りに、熾烈に遂行されたストライキ闘争の成果である。

我自由聯合主義労働組合にとつて、労働者農民のストライキ闘争は、我等が其の中に活躍し、實踐闘争を通じての組合員の訓練、意識の深化等、重要なる闘争場裡たる事は勿論である。だがストライ

キ闘争が、單なる個々の資本家との對立抗争に終止し、何等革命的に、發展的に把握され遂行されな
いならば、其れは一面忌むべき改良的組合闘争に墮して居るものである。此の傾向は、最近の争議の
性質が、産業合理化に依る労働者の防衛的闘争である關係もあつて、我戦線に於いてもストライキ闘
争を通じての自由聯合主義の×命的昂揚と云ふ事が充分に行はれなかつた。にも拘はらず、此ストラ
イキ闘争の結果、我陣營の蒙つた影響は相當に甚大で、其の度毎に第一線に立つ前衛分子を屢々白色
テロルの犠牲とし闘士の缺乏よりして、全體的組織的活動を一時中絶を餘儀なくせしめた事が一再で
はなかつた。然し吾々は知る。此のストライキ闘争の苦き經驗は、其れ故に、日常經濟闘争を侮視、
拒否する觀念論者の主張を正當づけるものではなく、反對に、ストライキ闘争方針の確立によつて、
自由聯合××闘争に於けるストライキ闘争の役割を明確に規定することの必要性を物語るものであつ
て、××的自聯闘争の中に於ける、ストライキ闘争の正當なる役割を明確に把握することは、六年度
に於ける重要な任務の一つである。

二

是れと關聯して、痛感されることは自聯實踐的闘争理論の確立である。最近の政治的狀勢より綜合
すれば、労働組合法案の貴院に於ける握り潰しの運命は確定した如きものであるが、其の成否如何に
關らず、戰闘的労働組合の國家權力による暴力的破壊は實に時間の問題である。此の我等が戦線の重

大なる時機に際して、組織の強化、工場、仕事場を中心とした連絡組織の習熟は勿論、更に、我々は
組織運動上に一つの轉機を劃さなければならぬ。未組織労働者の廣汎なる組織運動は、勿論常に何
時如何なる場合に於ても、組織運動の重大なる闘争分野ではあるが、我々は此の際、現在、社會民主
々義的、及び強權的マルキシズム労働組合内に組織されて居る。組合員大衆の自由聯合主義化云ふ
問題を等閑に附することは出来ないのである。近き將來に想定される、運動の潜航的狀態に於ては、
他組合より組合員を獲得して來ると云ふことよりも、寧ろ他陣營内に意識的共働者、同志を創ると云
ふことに集中した方が効果的であり、斯かる同志の各團體内に於ける散在活動を通じて、全運動の自
由聯合主義化を計るべきである。其の爲に先づ以て第一に必要とされるのは、マルキシズムの強權的
理論を批判し、克服すべき實踐的理論の完成である。此の場合、組合運動にあつて唯物辯證法を、勞
働價值説を、哲學的に學術的に批判すると云ふことよりも、世界資本主義の大勢と日本資本主義現勢
の分析、プロレタリア獨裁、帝國主義戦争の具體的實際戰術に於ける、組織的に建設されたる自由聯
合主義の實踐的理論の確立こそ急務である。これなくしては全解放戦線の自由聯合化と云ふ事は斷じ
て不可能の問題である。革新自聯の闘争は、過去の觀念的に膠結せんとした祖述的、固定的、公式的
自由聯合主義の理解に反對して、大膽に客觀的狀勢に適合した實踐的理論の正當性を以て對立したも
のてはあるが、而もなほ、實踐的自由聯合主義の原則的主張は正しかつたけれども、其の實踐的理論

の具體的内容に至つては、何等の意味に於て從來より進歩の跡を見ることは出来なかつた。是れは、革新自聯闘争の性質上から云つても可なりに致命的な理論缺陷である。資本主義制度××に至るまでの経過に於けるアナーキズム諸闘争の持つ、其の役割の分析究明と、社會××過程に於ける、労働者、農民組合運動の任務の建設的な、重大使命を検討した實踐理論の確立は、本年度に於ける最も重要なものである。

三

組織的分野に於ては、産業別戦闘組織の確立のための、組織、未組織労働者の積極的動員と共に、既組織組合の質的向上が先づ急務である。あらゆる組織運動發展の契機を捉へて、戦線を擴大する事は勿論必要ではあるが、其の全活動の基礎は、確固として、既組織組合員の上に磐石の如く置かれて居なければならぬ。今日迄の経験では、一般組合員大衆と第一線に立つ闘士との間に、質的に言つて餘りに懸隔があり、其の闘争が、殊に社會的闘争に向かつた場合に生じた如き前衛の遊離と言つた如き弱點は、緊急に清算克服されなければならぬ我戦線の組織上の缺陷である。

四

最後に、現在の切迫せる時期に際して、國際的國內的資本主義の正常なる認識と、社會解放運動戦線に於ける諸種勢力の分布對立關係を慎重に検討するならば、今こそ全自由聯合主義戦線が打つて一

丸となり、各種闘争團體の強固な結合による、綜合的アナーキズム戦線の確立が痛感される筈である今日の如く、農村團體と都市労働者組合の分離、各種闘争の孤立的存在は、各自の連絡理解の缺如を來たし「農民」一派の如き、運動上の變異型態を發生せしめる結果となる。全自由聯合主義團體の強固な連絡機關が必要である。殊に斯る重大なる時期に當たつて、労働組合戦線が二個の陣營に分立して居ることは寔に悲しむ可き現象ではあるが、此の戦線整理の問題は、單なる機械的結合によつては不可能であり、且つ、全國自聯が既に其の闘争的機能を實質的に喪失して居る今日、我等の專なる社會的闘争の展開と、自然的整理の方法以外に道は残されて居ない。

第五十九議會は

何を議せんとしてゐるか

(五、十二、一、發行)
第六號

ブルジョア第五十九議會の開會は目前にせまつてゐる。労働者農民の未曾有の窮乏と、「喰はせろ！」「働かせろ！」と叫ぶ洪水のやうな失業者大群の悲痛な絶叫を尻目に、彼等は何を議せんとしてゐるか。その中心題目である軍縮問題、減税問題、失業者救済案、而して労働組合法案を検討せよ。

一、戦争の根絶、世界平和、國民租税の軽減等との華々しい旗印の下に開催された、軍縮會議は國民に何をもたらしたか。軍縮による五億餘の剰餘金は果して何處へいつたか、海軍補充費豫算六億萬圓は何を意味するのであるか、軍縮の成功を宣傳するために、數字の上で一應縮少することによつて國民の眼をゴマかした彼等は、その裏で、軍部と共力して尠大な軍備擴張を忘れなかつた。軍縮による國防不安の補充といふことは、結局に於て、彼等が世界の平和、戦争の廢止に對して全然無誠意であることを示すと共に、自由主義政治家も財閥のあやつりにおどる人形であつて、すゝんで戦争への準備に協力するものであることをバクロしてゐる。

一、産業合理化の強行と、世界經濟恐慌の犠牲となつて、労働者、小市民大衆、特に地方農民の肩に、苛酷な税金が背負はされ、喰ふべき米のない彼等が、税金を收めるため娘を賣ることは稀ではない、軍縮による剰餘を減税に振り向けると聲明することによつて、政府は、國民の間に起る呪咀と反抗の聲をふさがうとした。だが見ろ！今議會に提出されやうとしてゐる減税豫算は僅に一千萬圓にすぎないのだ。

一、米價の騰貴まで貯へておくことの出来ない大多數の貧農が、最低値で已に手ばなしてしまつた今日、政府の米買上は、一部の資本家、政商、相場師の懐ころを肥し、疲弊し盡した農民のふところからその最後の生活費まで、ねこそぎ掻き上げやうとする以外の何物でもない。これが彼等の米價對

策だ。

一、更に失業救済費として政府の計上する二千萬圓は、現在二百萬を以て數へられる失業者とその家族に、一片のパン屑さへ與へることは出来ない。政府が失業者を救済するために成さうとしてゐるのはこれだけだ。こうした社會政策が、どんな美しい言葉で飾られて居やうとも、我々にはそれに對して少しも期待をおくことは出来ないのだ。何故かならば、賃銀値下、工場閉鎖、労働時間延長等々を伴ふ産業合理化を強行し、労働階級を餓死的境遇にまで引下げ、失業の街頭につき落したのは、彼等ブルジョア階級自身であり、更にこうした犠牲者の存在なくしては、資本主義經濟組織は存在し得ないからだ。

此の時、勞農、大衆、社民の各無産政黨は何をしやうとしてゐるか、先づ労働組合法案について見よ！戰闘的労働組合壓殺、ダラ幹擁護を圖る社會局案と、本質に於ては些かも違はないものを示し乍ら口には自主的法案の獲得を叫ぶことによつて、これら労働組合法案が、労働階級に對して非常な利益を與へるものであると誤信させる。革命的労働者を支配階級の手に賣渡し、解放運動を邪道に陥れ密に支配階級と手を握らうとしてゐる社會民主主義者の態度については、我等は既に第三號主張に於て徹底的にバクロした。無産黨代議士と稱する奴等は、些かも労働者農民のために働く者でなく、却て自己の政治的地盤を作り、榮譽と名聲を保持するためにいつても勞農大衆をギセイとして恥じないの

だ。第五十九議會に當つて、彼等は戰闘的労働組合壓殺のための労働組合法案に熱烈な援助をおくりその通過のために狂奔しつゝある事實を忘れるな！

各無産黨が、失業對策として政府に要求してゐる減税、或は、河港道路改修等々の土木工事の起工は、政府の國産品愛用と五十歩百歩であつて、かうした偽瞞的彌縫策では、民衆を失業地獄から解放することは出来ない。失業とは、現在の社會制度が續く限りどうしても避けることの出来ない事實であつて、これを根本的に解決せんが爲めには、資本主義經濟組織といふ病菌を根本的に××する以外にあり得ないのだ。

來議會も又、民衆の窮乏こそ切實な要求をよそに、野次と亂闘騒ぎに終るであろうし、各無産黨も民衆の武×的蜂起の防止によつて、資本主義援護のために終始するであらう。だが今や、社會民主々義者の踏臺となつて苦しみつづけて來た労働階級も、無産黨が今日に於ては、解放運動の障害となつてゐる反動的存在以外の何ものでもないことをその血みどろな實踐闘争の中から學びつゝあるのだ、我々は、政治運動、議會行動の反動的存在を粉粹し、民衆自身の經濟的直接行動をもつて、正しき解放の道へ直進しなければならぬ。

一切の偽瞞的社會政策反對！

労働組合法案とそれを援護する無産黨を粉粹しろ！

議會運動を否定して民衆自身の直接行動へ！

労働組合法案に

如何に備ふべきか

(五、十、十、發行
第、四、號)

既に吾等が、屢々其の正體を晒け出して、其の反動的假面を引き剥いて置いた様に、今議會に政府が提出せんとする労働組合法なるものは、如何なる意味に於ても俺達労働者階級の利益になるものではない。それは表面労働組合を保護發展せしむる爲の社會政策であるかのやうな假面をかぶつて居るが、その實、労働組合運動即ち労働者農民の解放運動を永遠に、資本主義帝國主義の鐵の鎖りに繋ぎ反面、眞の戰闘的なるプロレタリア農民の必死的闘争組織を、合法的に粉碎せんとする最も惡辣陰險なる偽瞞政策である。

最近特に狂暴に露骨にそのファツシヨ的毒牙を顯はして來た警察テロは、血に飢へたる虎狼の如く全國に亘つて勞農解放運動の幾千の戰闘分子を、拷問し虐めしつゝある。その無恥無暴、慘虐飽くな

き拷問ぶりは、封建野蠻時代の火焙り、車裂きの暴虐にも勝り、聞くだに戦慄を覚えしむるものである。斯くの如き労働運動に對する徹底的弾壓政策をとりながら、何故白々しくも、彼等は社會政策としての労働組合法案を提出せんとするのであるか。こは一に官憲自ら權力を亂用して法を亂り、人權を蹂躪しつゝ、ある組合弾壓政策を、表面合理合法化せんとするものである。

吾等これに對して如何に備ふべきか。此の労働組合運動の現下の重大なる危機に際して、自由聯合主義労働組合の任務は次の諸點に集注されなければならない。

社會民衆黨、大衆黨は表向き政府案労働組合法案を排斥して、其の局部的修正に過ぎない各自案を提出せんとして居るが、其の實、事實上は資本家と政府の八百長喧嘩にマンマと乗せられて、政府案を消極的に支持するものである。

又労働黨は政府案を全然排斥して、最も急進的なるが如き労働黨案労働組合法を掲げて居るが、而も彼等は資本主義社會制度下に於ける労働立法の眞の階級性を隠蔽し、是れ又議會主義に陥つて組合法實施要求の方向に迎合しつゝ、ある。此の時、眞に現在提出せんとする政府案組合法のみならず、一切の労働立法の眞正體を労働者農民大衆の中に徹底せしめ、以て吾國プロレタリア農民の直面せる運動上の危機に備ふべく、憤起せしめるのは我等自由聯合主義労働組合の任務である。此の爲に吾等は右翼中間ボルを問はず、一切の影響の下にある組織労働者に對して、徹底的にアヂを行ひ、労働組合法粉碎闘争を通じて、議會主義、政黨主義に對する反對闘争に迄發展せしめなければならない。同

時に吾等は吾等の陣容が如何なる彈壓にも堪へ、白色恐怖の中にも敢然と、戰闘的労働者農民の切實なる革命意慾を餘すところなく充分に採上げて闘ひ得る如く、我等の陣容を組織編成強化しなければならない。

現在我が自由聯合主義労働組合運動は、資本と官憲の挾撃裡に非常な壓迫を受けつつあるとは云へ尙まだ可なりの合法性が與へられてゐる。だが我々は、既に我々の合法性が其の闘争を如何に制約されたる自由であるかを明瞭に認識し得るのである。我々の戦線が擴大され強化されるごとに官憲の干渉壓迫は熾烈化し、労働組合法の通過は、我々の運動の合法性に最後の止めをさすものであることを知る時、今や總ゆる彈壓に堪へ得る非合法的戦畧、組織の習熟獲得こそは、我等の當面せる最緊要の問題である。

今日迄の如き多少とも合法性を獲得した事務所を持ち、連絡集會等の一切を事務所集中したが如き闘争組織は、狂奔せる白色テロルの前には如何に脆く弱いものであるかを悟らねばならない。今や一箇の労働争議に當つても我等が組合の合法性は大部分が失はれてゐる。問題が具體化し、白熱すれば組合の争議應援對策すら合法性を蹂躪されることは、既に過去の闘争の示すところだ。事務所襲撃スパイの潜入總檢、監廻し、拷問、是れ等の彈壓に堪へ、執拗に闘争を遂行する爲めには、我々の戰闘的陣營組織を緊急迅速に倍加強化しなければならぬ。其の具體的方法として我々の主力を注ぐ

可き點は次の諸點である。

一、産業別整理はなるべく速かに完成すること

現在の闘争に於て産業別組織が如何に必要であるかといふ點に就ては、前々號に其の一端を述べて置いたので省畧するが、此の勞働組合法の實施の結果として、我々の頭上に想定される彈壓と闘ふために、更に此の點が強調實施されなければならない。

二、従來の事務所中心的運動から、工場分會、各地域分會を中心とした闘争組織に

現在多少とも合法性を獲得してゐる組合事務所は、早晚解散され粉碎されることは覺悟しなければならぬ。其れは既に時期の問題である。其の時に到つての前後處置では追ひつかないのだ。今日より直ちに、我々は此の非合法組織に習熟して居なければならない。

三、戰闘的動員組織の確立

集會結社言論の自由は、我々の運動にとつて先づ第一に獲得されねばならないものだ。だが我々は其れがブルジョア議會の協賛に依つて、事務的平穩裡に獲得されるものとは夢にだに考へることは出來ない。其れは、只我々の熾烈果敢なる實踐闘争のみが實し得るものだ。其の爲、即ち我等の言論の自由、結社の自由、集會の自由獲得の爲に戰闘分子に依る強固なる自衛闘争の動員組織を確立しなければならぬ。我々には更に此の際警察テロを採りあげ、此れに對して斷固として闘はねばならない

是れに闘ふことによつてのみ、我々の闘争は展開する。而して其の組織こそは、此の自衛闘争動員組織の重大なる役割である。

四、組織的研究會を開いて闘士養成

第一線が奪はれても、直に第二線、第三線の闘士が續き得る様に有望なるメンバーを選定して、可成に高度の思想的、實踐的研究會を組織的に開き、闘士の養成に全力を盡さねばならない。以上の對内的、對外的諸種の闘争を通じて、勞働組合法に戰ふことは、我が自由聯合勞働者農民の現在當面せる最も緊要なる闘争の一つである。

全民衆の解放を拒む

一切の反動主義を粉碎せよ

(六、二、一、發行
第八號)

反動主義とは何か、よし急進自由主義に對して保守派を反動と呼び、社會民主主義に對して國家主義

を、又強權的共産主義即ちマルキシズム、ボルセヴィズムに對して、社會民主々義を含めて他の一切を反動と呼ぶ。だが果して反動とは何か。労働者農民の解放否一切の被壓迫民衆の徹底的解放、此の徹底的完全なる解放に反對する一切の主張は反動である。と云ふ事は、單に被支配民衆の解放に同意すること、ただ其れだけでは何等彼の非反動性を證明するものではないと云ふことだ。此の解放に逆行する國家主義、保守主義、資本主義が反動であることは餘りに明白な自明の理だ。我々は更にたへ彼が被支配民衆の解放に同意するとは云へ、而も現在の此間に於いて、労働者農民無産階級の必死的な解放闘争を、中途半端に抑制しやうとする一切の主張を反動と云ふ。此意味に於て資本主義内部の部分的改良に満足せんとする急進自由主義、社會民主々義の反動たること又言を待たない。我々は更に一步を進めて、よし彼等が資本主義の廢滅を企圖する革命黨？にしても労働者農民の徹底的なる解放を齎らざる主張に對して、尙彼等を目して反動と云ふに躊躇しないものである。労働者農民が其の決死的階級闘争によつて舊ブルジョア政權を倒し、更に進んで生産物、生産手段、全社會財を徹底的に收用し、賃銀奴隷の鐵鎖を最後の破壊せんとした時、反革命の粉碎を口實に、階級獨裁プロレタリア政權の美名の下に、眞に戰闘的なる革命的前衛闘士を虐殺し、投獄し、民衆の創造的組織能力を完全に粉碎せんとし、又現にロシアに於て其れを行つて來た者、即ち強權的マルキストボルセヴィストも亦一群の反動であをことに何等變りはないのだ。

二

労働者農民被支配民衆の徹底的解放は、下からもり上る、單純より複雑へ、個人より社會への此の民衆自身の創造的自由聯合組織方向に反對せんとする一切の官僚主義、權力主義、劃一主義、爲政家的觀點、我々は是等一切のものを反動として斷固として反對し闘争するものである。プロレタリア獨裁と對立するものは保守的反動でもなければ社會主義デモクラシーでもない。それはプロレタリア獨裁をも反動主義と規定する自由聯合主義である。右は封建的殘滓である保守的反動と、獨占的金融資本との近代的プロックであるファシズムより、左はボルセヴィキに至るまで、一切の反動主義者に共通なる要素は、彼等は總て社會とか民衆とか國家とかいつた、一般的抽象的觀念の安寧秩序のために、各個人の意志を蹂躪して何等自ら顧みる事なき事である。彼等が總て政治家的觀點に立つて居るといふことは、現實に社會に苦闘する民衆から遊離して、今日まで政治的支配者がとり來つた如き同じき政治的手段に據つて居ることである。是れこそが反動の特徴である。自由とは何か？解放とは何か？其れは此の政治といふ支配組織に代るに、民衆の創造的自由聯合組織を以つてすることである。一切の反動主義を撲滅せよ、其のあらゆる型態に於ける其の最初の萌芽に於てすらも、帝國主義、ファシズム、プロレタリア獨裁にしる、農民獨裁にしる、軍事教練、反動的讀物、ラヂオ、映畫、建國祭其の如何なる様態と程度に於ても、我々は之れと精力的に闘争し粉碎しなければならぬ。

如何に反動主義と闘ふ可きか、我々は反動の徹底的粉碎のための闘争を遂行しなければならぬと同時に、又其れに變るべき我々の自由聯合の大衆的組織の確立に邁進しなければならぬ。併し、現在の社會狀勢と其の反動主義の浸潤の度を精細検討する時、反動主義戰線の餘りにも強固なのに較べて、自由聯合戰線は甚だしく沈滞してゐる。我々は現在の自由聯合主義の勢力を過大に評價し、自ら夢幻的なる自己陶醉に陥らんとするものではない。だが我々は、又、民衆の中に何千年間深くつちかはれて來て居る自由聯合的創造的組織能力を斷じて過少に評價してはならないのだ。無組織無計畫こそがおれ達の方法だと、其の無定見無理論を自己暴露するが如き一派の觀念論者に對して、嚴重なる批判を下すと同時に、我々は民衆の本質的組織能力としての自由聯合主義の究極の勝利を信じて疑はない。彼のフランス革命に見た、パリーコムンに見た、驚異すべき民衆の自由聯合の組織能力を我々は我國に於ても少しく仔細に視察するならば、何時如何なる處に於ても充分に見出し得るのである。クロボトキン逝いて既に十年、今にして振りかへつて勞農ソヴェットを再吟味する時、我々は彼が如何にロシア革命の非階級的反動的動向を推知論言したかを感歎するものである。「我々とても自由聯合主義を理想とする、たゞ其れに到達する過程として獨裁を必要とする」とレーニンの云つたロシアが、現に如何に非自由聯合主義的に逆行しつゝあるか。社會主義的産業合理化、五ヶ年計

畫、社會的蓄積、一週五日制等は逆轉して、農民が飢餓に迫る時、小麥の資本主義的ダンピングとなり、失業者續出、出來高賃銀となり、アメリカ資本の大量的投資、今やロシアはプロレタリア獨裁なるが故に、歐米資本家の安全なる投資場としてブル新聞に提灯持をされて居る。「權力のつるに自由は實らぬ」如何にボルセヴィストが辯證法的詭辯を弄しても、權力國家に國家權力の自然的解消を齎す如き自由聯合の芽は生えない。

一九二一年三月一日、強權ソヴェットに反逆した、クロンスタットの水兵達が如何に正しかつたか！十年後の今日、國際革命のプロレタリアートは、其の實踐に於てクロンスタットの正しさを確認する。ロシア革命は勞働者農民がいかん革命を起してはならないかの絶好の模範を、全世界のプロレタリア階級の前に明示しつゝある。クロボトキンの革命的なる全生涯と思想は、其の理由を明確に理論付けた。クロンスタットの反逆は、如何に強權と闘ふべきかを彼等の血ぬられた大きな犠牲によつて教示した。我國の革命的勞働者農民は此尊き國際的經驗を活用しなければならぬのだ。

社會民主々義

如何に闘ふべきか

(五、九、一、發行)
第三號

日本資本主義は、産業合理化と帝國主義戦争準備の爲めに、無産階級を極度の貧困に突き落してゐる。見よ！工場、鑛山、交通、其他あらゆる産業を通じて、誠首、賃銀値下げ、労働時間延長、工場閉鎖等々、農村に於ては立毛、立禁反対、小作料減免闘争の激化は、昨年度より急激に増加した。電燈、瓦斯水道値下げ問題、これ等一切の闘争は、餓死線上に横たはる無産階級の状態を如實に物語るものである。

かゝる状態の下に於て、社會民主々義者の一味は何をなしつゝあるか。勞農黨の大山河上、大衆黨の麻生、社會民衆黨の安部、鈴木、松駒等々、これ等右から左への一連の社會民主々義者は、労働組合法の獲得に、或は政府の産業調査審議會等に參加して、完全にブルジョアの御手先をつとめ、労働運動戦線に於ては、社會民主々義ダラ幹特有の團體交渉による悪用、争議賣渡し、或は調停請願によ

る闘争回避等、鐘紡、淺野セメント、富士紡等争議によつてみても明かである。



現在日本に於ける組織労働者は三十三萬有餘であるが、(全労働者の六、八%)その大半は社會民主々義の下に組織され、然も國家事業である軍需品工場、電信、郵便、交通の重要産業には殆ど彼等民主々義の魔手が延びてゐる。又戦争の際、政府にとつて最も利用價值のある海上運輸は、反動日本海員組合のダラ幹の下にある。

かゝる組織状態に置かれた、俺達自由聯合主義者の任務は従つて重大であると言はねばならない。然らば社會民主々義者を排撃し、更に根本的に掃蕩する爲めには、當面如何に闘争を開始すべきか。

一、組合法をめぐる社會民主々義者の反階級性の暴露

労働組合法は俺達が繰返し暴露し來つた如く、それが内務省案にしろ、無産階級の味方面する勞農大衆、社民黨等の要求する法案にしろ、それはたゞ五十歩百歩の差こそあれ、決して労働者農民の組織の伸張や、解放への道でないことは冗言を要しないところだ。彼等が來るべき議會を前にしての血眼なこの組合法制定運動こそ、彼等の反階級性を如實に暴露するものだ。

一、社會民主々義運動は生存權獲得闘争を放棄する

社會民主々義運動は議會運動であり、ブルジョア政治屋に變るに無産黨政治屋製造運動である。だ

から、必然に労働者農民の切實なる生存権の闘争を放棄するのみでなく、選挙地盤獲得に狂奔する。

一、團體交渉権、調停請願て闘争壓殺

團體交渉権、調停請願は、労働組合戦線に於て、社会民主主義者の好んで選ぶものだ。何故か、これ等によつて燃え上らんとする労働者農民の闘争を壓殺し得、自己の地位の維持獲得、更に資本家地主から袖の下を頂戴し得るからである。之れ等の反動的意義を分析し、徹底的排撃を不斷に遂行せねばならぬ。

一、社会民主主義指導下にある大衆との固き握手

即ち、隠然又は公然の革新派乃至グループの結成である。その爲めに、彼等が指導する労働争議、小作争議、その他の闘争に自由聯合主義團體の計畫的動員、應援を以つてその結成の楔機たらしめる。また反政治運動、失業反對、反戦闘争を日常闘争と共に遂行するに際し、社会民主主義指導下の大衆に常に呼びかけ、それらの闘争の最前線に身を以て闘争し、これらの闘争を社会民主主義運動の偽瞞暴露排撃闘争と共に果敢に遂行することによつて、社会民主主義指導下の大衆を吾自由聯合主義の影響下に引き入れねばならぬ。

かくて、組織未組織大衆から、社会民主主義者の陰謀を完全にハタキ出した時に、労働者農民の最後の勝利はあるのだ。工場へ！農村へ！鑛山へ！のスローガンの下に、未組織労働者（婦人青少年労働

者、農業、漁業、工場、鑛山、運輸労働者）の獲得闘争を果敢に遂行することが今日の急務だ。宣傳煽動が當然行動を以てなすべきであり、又大衆の日常の不平不満と結びついたものでなければならぬ。ただに理論のみの宣傳は、實踐上に於てかへつて弊害を伴ふのだ。日常闘争のアチ、プロと共に社会民主主義の排ゲキも含まれたものであれば、大衆の進路を指示する二様の意義を持つことになる。その意味に於いて、俺達の先驅者第一インターナショナル「労働者の解放は、労働者自身の力だ、せ」の、スローガンと、政治運動を排撃する「經濟的直捷行動」の綱領は、全く正しき認識の下に無産階級解放運動の展開を示すものである。

社会民主主義を倒せ！

一切のタラ幹を組合戦線から叩き出せ！

戦争準備の産業合理化絶対反對！

自由聯合戦線擴大強化のために闘へ！

俺達は反戦闘争を

如何に戦ふべきか

(六、三、一、發行)
第九號

現在の状勢は、日本資本主義だけではなしに、全世界の資本主義一般が不況のドン底に落ちて、而も其の甦生の打開方法も見當らず、行詰りの袋路に迷ひ込みつゝある時だ。企業の間をばかり、關稅の障壁を高くして、大資本を過重に保護する産業合理化に依つて數百萬の失業者を街頭に送り出し、なほ景氣の恢復する一片の安心材料すら見當らない時だ。資本主義は、現在の自分を維持する方法を知らない最後のどん詰りに來てゐる。だが其れ故に果して此の儘自己崩壊するか、否、其處に最後の支配階級のきり札が残されてゐることを忘れてはならない。戦争！然り戦争こそ一切の資本主義の持つ矛盾を一機解決せんとする最後の彼奴等の抜け道だ。不戰條約の蔭に、ロンドン條約の裏に表面的な世界平和の確立をてらひつゝ、彼奴らが如何に、帝國主義戦争の準備を着々と進めつゝある

か。第一海軍補充案も駄目だ、第二補充案も駄目だ、ロンドン條約で捻出された剩餘財源を、如何に奴等が近代的科學的戦争道具の補充のために奪ひ合ひしてゐるかを見よ。宇垣陸相は「私の陸軍改革案は、陸軍整理であつて軍縮ではない」と明確に告白してゐる。産業界に於ても然り、戦争準備は平和確立の裏面に、未曾有の大規模な緻密な計畫が着々進んでゐる。避くべからざる事實として目の當り我々の前に押し迫つてゐる。

二

戦争が、労働者農民に何を意味して居るかは餘りに明白だ。階級戦列の精銳を第一線に送つて、ダム／＼彈の餌食とし、プロレタリアの闘争能力を滅殺し、一方に於ては生産品の浪費によつて資本の吐け口を見出し、租稅の形式によつて労働者農民を加速度的に搾取する。一切の犠牲、一切の負擔は労働者農民に全部轉嫁されるのだ。今頃戦争が來れば景氣が好くなるだらうなどと、資本家政府の口車に乗せられて居る労働者農民は一人もないだらう。戦争は此の擡頭しつゝある労働者農民の闘争を再び立つ能はざる迄に大地に叩きつけて、資本主義の賃銀奴隷制の永久繁榮を夢みむとする、資本主義の一石二鳥の最後のきり札だ。此の帝國主義戦争の避けることの出來ない事實を前にして、おれ達労働者農民の採る可き態度は明白だ。おれ達は斷固として強固な反帝闘争戦線を確立しなければならぬ。

されば如何なる方法によつて反帝闘争を押し進め、如何なる組織を持つべきか。まづ其れは概括的に見て、一切の反帝的勢力の結合が出来なければならぬことは論を俟たない。だが其れだけでは何等の具體的な内容でない。我々はまづ實際的に、戦争防止が出来るやうな眞の戦闘力ある組織を必要として居る。それは何か、労働者農民即ち生産者自身の強固な組織である。この確立のないところに眞に戦闘的な反帝闘争はない。過去に於ても、革命的インターナショナルは戦争反対を決議し、其の闘争手段としてゼネストを主張した。この決議は、彼の歐洲大戰に當り、社會民主主義者の裏切りによつて脆くも破れた。だが而もこれ以外に實際的に戦争防止の出来る方法はないのだ。我々が眞に解放を望むなら、我々が敗北を欲つせないなら、如何なる困難な障壁を突破しても、我々は斷固としてこの闘争組織を確立しなければならない。それには労働者の職場に於ける強固なる結合だ。農民の農村自體に於ける戦闘組織だ。それは労働者農民の生産場裡から浮び上つた、遊離した政治的結合體、即ち政黨の組織によつては斷じて出来ない。帝國主義戦争反對闘争は、故に、農民組合自體、労働組合自體のうちにあるべきだ。若しも眞に組合が××的であるなら、労働組合であれ、農民組合であれ、消費組合に於てすらも、組合闘争は反帝闘争と別個のものではない。

反帝運動を進むるに際して、反帝集會を持ち、反帝ニュースを發行し、戦争の危機、その本質、各

國の戦争準備、反帝闘争の情勢等に就て關心を高むることは必要である。だが反帝闘争は、そのみに止まつては何等の意味をなさない。日常個々の片々たる闘争のうちにも、充分に反帝闘争が織込まれなければならない。なほ此の間に、労働者農民以外の階級をも、廣範なる反帝闘争の一翼に結合されなければならない。全國的に、全階級的に、反帝勢力の全一的結合こそは必要である。だが反帝闘争を反帝同盟などと云ふ、一個の特性團體に極限することは、運動の眞に發展の阻害となるものである。

四

更に反帝闘争は、都市農村生産者の強固なる組合組織確立と共に、植民地、半植民地被壓迫大衆と強固に結びつかなければならぬ。だが其の故に、我々は強權共產主義者が支那に於て失敗した如く反帝國主義的國民運動を支持するものであつては斷じてならないのだ。植民地、半植民地の國民主義運動は、其れが一時如何に反帝的色彩を帯びると雖も、決して其れは、強權共產主義者が想像するごとく社會革命に迄進展するものではない。其れは單に其の植民地から、列強帝國主義勢力の驅逐を意圖するのみであつて、一度彼等が其の意味に於て成功すれば、彼等は一變して自國の資本主義を擁護し、帝國主義者となるのである。我々は明確に其の本質を究め、被壓迫民衆自身と手を繋ぎ、一路、一切の帝國主義の××の爲に邁進しなければならない。

産業別線に沿つて

組織運動に全力を結集しろ (五、八、一、發行)
 (第二、二、號)

彼の大戦當時労働運動勃興期に當つて、アナルコ、サンヂカリズムの非政治的直接行動により、全資本家階級を震撼し、社會民主主義、議會主義の迷旨を打破して、戦闘的労働者農民の最前線に立つて闘争し、よく其の階級的使命を果たしたものは實に我が自由聯合主義労働組合運動であつたのである。それにも拘はらず、過去數年に亘つて我等の運動は著るしく不活潑であり、不振であつた。自由聯合主義の全労働者農民一般無産大衆に對する浸潤の度は、甚だしく稀薄になりつゝある。我等は此の際自慰的に自らの力を過大評價し、社會的認識の眼を曇らしてはならない。大膽に勇敢に有りの儘の我等の現實を嚴密に自己批判し、其れに即して根本的運動方針を樹立しなければならぬ。

◇
現在我國自由聯合主義運動は、其の舊き傳統と、輝かしき闘争の歴史にも絶えず、新しき第二の出

發點に立つて居る。理論の固定、戰術の固化、觀念的膠結への傾向、幾多の理論的、實踐的の過去の誤謬を清算克服し、新しき創造の意氣のもとに、我が自由聯合運動を再建すべき其の出發を、我等は既に去る五月×日の自由聯合團體全國會議の結成に於いて持つたのである。此の新しき出發にあつて、我等の組合戦線を顧みて見よ。遺憾乍ら我々は、量に於ても、又具體的戰術樹立の理論的分野に於いても、解放諸運動中にあつて、現在の我等の著るしき劣勢を承認しなければならぬのである。現在の我々の力をもつてしては、此の儘の現状ではよく労働者農民の自然發生的反抗をも充分に採りあげて闘ふことは出来ない。此現状を如何に打開すべきか、そこには幾多の方法がある。理論的完成各種出版物の發行、等々、だが是等の全自由聯合諸闘争の中にあつて、其の根幹となつて將來の運動の成否を決定するものは、如何にして戦闘的労働者農民を獲得すべきかの問題であり、如何にして未組織労働者を組織して行く可きかの問題である。

◇
從來に於ても、幾多の我等の大會議案に於て、此の未組織労働者組織の件が提出され、可決され、又種々の會合に於て、屢々此の問題は討議され、總ての同志に依つて賛成された。又實際的にも運動は常に各労働組合に依り、或ひは又同志グループに移された。其れにも拘はらず、我々過去數年に亘つて、此の方面に於ては著るしき成果を得て居ない。其の原因は何處にあるか、幾多の原因の中、我

々は一つの可成り根本的な缺陷を擧げる事が出来る。其れは、我々の組織運動が從來、集中的、効果的でなかつたことである。今日まで各労働組合により、所謂宣傳は可成りに行はれ「労働組合へ入れ」「團結せよ！賃銀値下、減首、時間延長と闘へ」といつたピラを撒布したり、ポスターを張つたり、組織宣傳演説會を開いたり、宣傳週間なども可成りに行はれたのである。だが、此れは謂は、一般宣傳である。此の種の宣傳がどの程度迄の効果を擧げ得るか、此の場合に於て掲げられるスローガン、アヂは、労働者一般に共通的な問題しか採りあげられない。金屬工が見ても化學工業の労働者が見ても或ひは出版、ガラス工が見ても、又は雜種産業労働者に向くやうな一般的なものばかりで、一産業労働者に対する持續的なものがなかつた。斯かる種類の宣傳は、廣範な労働者を對稱とする事は出来るが、其れだけ各労働者の日常切實なる要求とシツクリ一致しない。具體的に、切實に労働者の心臓に喰入ることは出来ない。労働者階級の攻勢の時代、革命的風潮の昇進期に於ては、一般スローガンでも充分に労働者を騒起せしめ、組織することは出来たかも知れない。だが現在の如き資本の攻勢、階級戦線の萎靡沈滞の時に當つては、斯かるものでは一般労働者に対する影響が鈍い。更に彼等の日常の生活欲求に喰入つた、スローガンアヂが必要である。其爲めには、今日迄の如き一般的宣傳では駄目だ。此處に於て我等は今後の未組織労働者組織運動に對して、目的工場を選定、獲得を主張するものである。

目的工場とは、未組織労働者組織運動の對稱となり、目標となる工場である。我々は一定數の目的工場を選定し、其の工場内の労働條件、其の産業全般の狀態、工場内の現在問題となつて居る不平不満等を有効に採りあげて、機敏に行動を開始すべきである。其の工場を目標とした、適切なアヂピラを作成して撒布し、其れを二回三回と続け、茶話會、懇談會の形式で會合を持ち、或ひは又戸別訪問の方法を採つて、最後迄執拗に持續すべきである。目的工場を選定した場合は、一旦働きかけたら、絶対に中途で放棄してはならない。一度中絶した工場は、殆んど二度と働きかけることが困難になるから。ては如何なる規準に従がつて目的工場を選定すべきか。



現在の社會狀勢資本の攻勢と、金融資本の露骨なる彈壓政策下にあつては、闘争組織としても絶対に産業別的組織が必要である。労働争議は労働者階級の大衆的壓力を持つて展開せられるものであつて、單なる交渉委員の交渉技術によつて讓魔化されることなく、眞に正面から堂々と戦ふ爲には、同種産業労働者の強力なる團結、其の積極的支持應援、總同盟罷業を以て闘ふに非ずんば、到底勝利の見込はない。

且又自由聯合主義労働組合の革命的任務から見ても、強力なる産業別組織を持たねばならない。従つて目的工場選定の方針も、此の産業別組織を目標として、現在組織されて居る組合員の構成産業と

密接な聯絡の下に、一般産業労働組合にあつては、なるべく早く産業別整理が可能であるが如き選定をしなければならぬ。

又産業別労働組合にあつては、可及的に該産業中の大工場の獲得を目的とする必要がある。大體に於て、我自由聯合戦線の今日迄のところでは大工場に根が薄く、中小工場が其の過半を占めて居たが我々は一日も早く是等の組織上の薄弱なる基礎を清算克服して、全産業の死命を制すべき大工場に強固なる地盤を獲得しなければならぬ。

目的工場に組織運動を効果的に集中しろ！

目的工場の選定は産業別組織を目標として！

工場 職場 に

メーデー闘争のアジプロを集中せよ

(第六、四、一、發行)
第十、號)

全世界の労働者とその鐵鎖をゆるがし、支配階級に對する示威の日、五月一日メーデーは目前に迫

つてゐる。資本主義經濟の破綻を打開せんための、帝國主義戦争準備はその一切の負擔を、労働階級に轉嫁し、資本家地主階級擁護のための産業合理化は、労働者のパンの最後の一片まで奪ひ去つてゐる。大量的首切り、工場閉鎖、賃銀値下げ、労働の強化等々は嵐の様に吹きまくり、労働者階級の搾取と窮迫は愈々強烈となつてきた。一方改良主義労働組合の幹部は資本家地主の手先となつて、支配階級のおこぼれにありつかうと、ストライキその他の労働者の闘争抑壓のために共力してゐる。だが労働者階級は搾取と窮迫の度が強烈になればなるほど、その階級的使命を自覺し、改良主義幹部を拂ひのけ、あらゆる暴壓にも屈せず血みどろの戦ひを續けてゐる。最近の労働者の闘争をみろ！末紀的な支配階級の死物狂ひの攻撃に對しては、労働者は常に英雄的行動を以て、血と牢獄の犠牲をもつて闘ひつゞけてゐるではないか。

今年の第十二回メーデーは、實に二百五十萬の失業軍と、不斷に生活の劣悪化をしひられてゐる工場労働者の不平不満——これ等の尖鋭化せる階級闘争の下に行はれる。従つて自由聯合主義労働組合の任務は重大だ。おれ達はこのメーデー闘争を通じて、アナキズムの大衆への浸潤を企圖しなければならぬ。それは絶えず労働者の闘争の先頭に起つて、勇敢に日常闘争を闘ひ、言葉のみではなく實踐に於いて、自由聯合主義労働組合は労働者の唯一の組織であることを身を以て知さなければならぬ。されば全労働大衆の總動員の下に執行される、メーデーの絶好の機會を見のがしてならぬ。斯

かる重大な意義をもつメーデー闘争をよりよく闘ふために、組織未組織労働者、又は失業者等の廣泛な大衆の闘争を激發し、その労働大衆を自由聯合主義労働組合の下に組織し、闘争することだ。即ち××的自由聯合主義労働組合の擴大強化に外ならない。其爲めには次の方針が立てられなければならない。

一、メーデー闘争のアチプロは工場職場に集中すること。これは階級闘争のABCであるが、俺達の陣管内に於ては未だ克服されてゐず、重に街頭分子の闘争に終つて了つたといふ數々の失敗を持つてゐる。工場職場に闘争力を結集せずには断じて戦線の擴大強化は失敗である。

二、メーデー闘争に参加した分子の活動を中断せしめず、俺達の組織に獲得すると共に、メーデー後に於いてもあらゆる闘争に参加させること。

三、社會民主々義、ボルシユウイキの組織下にある労働者を獲得するためには、社會民主々義者、ボルシユウイキの正體を大衆的に暴露し、理論と行動を以て××的労働者の役割を示すこと。決して「新聞読み」や「ニュース読み」に終らしてはならない。

かくしてこそ、自由聯合主義の影響を擴大し、この影響力の擴大が自由聯合組合戦線の擴大強化を果し得るのだ。俺達のメーデー闘争スローガンは

一、解雇、賃銀値下、労働強化、工場閉鎖絶対反対！

二、最底賃銀二圓五十錢を支給しろ！ 三、減収に依らざる七時間労働の即時實施！

四、婦人幼年工の虐使絶対反対！ 五、婦人労働者の生理的變化時に於ける公休と日給全額支給！

六、民族的賃銀差別絶対反対！ 七、同一労働には同一賃銀をよこせ！

八、メーデーを公休として日給全額を出せ！

九、労働者を犠牲とする産業合理絶対反対！ 一〇、失業抗議運動を全国的に捲き起せ！

一一、革命的労働組合破壊の労働組合法案、争議調停法を粉碎しろ！

一二、治安維持法、暴力行爲取締法、盗犯防止法、治安警察法を即時撤廢しろ！

一三、階級闘争犠牲者の即時釋放！ 一四、言論、出版、結社、集會の自由を闘ひとれ！

一五、帝國主義戦争の危機と戦へ！ 一六、植民地被壓迫民衆の即時解放！

一七、軍國主義的教育並びに政策絶対反対！

一八、ロシアに於ける在獄アナキスト、サンヂカリストの即時釋放、並びにその活動の自由をよこせ！

一九、ロシア秘密警察(G.P.U.)の即時廢止！ 二〇、國際労働會議の絶対否認！

二一、日本労働總同盟並びに一切のダラ幹を無産階級戦線から叩き出せ！

二二、左右社會民主々義者、強權的共產主義者を撲滅せよ！

二三、政治運動を排撃し、經濟的直接行動で戦へ！ 二四、政黨運動屋を組合戦線から叩き出せ！

- 二五、横断的青年部、婦人部の結成へ！
- 二六、黒色目衛團の結成促進！
- 二七、全國的自聯戦線の確立へ！
- 二八、農民組合消費組合との積極的提携！
- 二九、ベルリン黒色インターナショナルの支持！
- 三〇、アムステルダム、インター、汎太平洋労働組合會議絶対排撃！
- 三一、労働者の解放は労働者自身の力でなせ！
- 三二、工場、職場を労働者の手で管理せよ！
- 三三、實踐的自由聯合主義の旗の下に！

以上のスローガンの外、工場職場或はその地方の情勢に伴つて掲げ、その獲得にバク進しなければならぬ。闘争力に應じた計畫の下に行ふこと、ムリな不相應な計畫は、計畫倒れになるばかりで組合影響の擴大にはならない。メーデー闘争をより計畫的に、巧妙に、より大膽に、細心に！無産大衆の高まりつゝある革命の波にのつて、メーデーを期して、おれ達の自由聯合主義の旗をより高く深く押し進めろ！

第十二回メーデー萬歳！自由聯合主義萬歳！

日染 ハンストの

革命的意義を把握せよ

(六、六、三、發行
第拾一號)

個々の日常闘争に於て、労働者は絶對的勝利を獲得することは出来ない。資本主義と妥協し労働者の大衆的壓力を減殺せんとする、改良主義的組合に於ける日常闘争は、資本主義に對する一つの安全辯に過ぎない。だが一部の觀念論者の如く、それ故に一切の日常闘争を輕侮し、それへの積極的参加をば意識的に拒否することが、戰闘的な労働者として如何に大きな觀念的過誤に陥つて居るかといふ事は既に芝浦製作其他の争議に於て充分に證據づけられた事だ。かゝる見解は革命的といふよりも、寧ろ、無定見極まる日和見主義、敗北主義である。革命的労働組合における日常闘争は労働者の如何なる不平不満をも採りあげてそれを激發し、その個々の闘争において労働條件の維持防衛を出來得る限り闘ふと同時に、その闘争の中に資本主義に對する決定的闘争、最後の正面衝突を準備し、そ

の闘争に習熟し、それを押し切る確信を持たせることが重要な目的である。それ故にあるストライキに於て、單に労働條件の維持防衛に於て解決條件が有利だといふだけでは、革命的労働組合の闘争として充分ではない。問題はその闘争の過程に於て如何に新しき社會の建設が、意識的にも實際的にも準備されたかといふことである。この二つの觀點から嚴密なる検討が下されてこそ、初めて正しき階級的批判がなされるのだ。

二

日常闘争を通じて新社會の建設を準備すること、それは資本主義國家權力等に對する階級的認識を深めて、それとの決定的闘争の不可避性と其の危機の切迫を自覺せしめ、決戦の決意を持たせると同時に、その闘争方法に於て我々が如何なる方法を取る可きかを明確に全大衆の前に明示し得るものではない。

「労働者の解放は労働者自身の力で」我々が新社會の建設に當つては、一切の合法非合法を問はず、政黨、權力を必要としない。現在の知識に於て新社會建設の足場となり、それを發展さして新社會の土臺となし得るものは、自主的労働組合、農民組合、及び自主的消費組合あるのみだ。労働組合の手による生産機關の×取、消費組合による配合分配組織の確立、一切の闘争はこの二つに全勢力が集注されなければならない。

生産機關の収用は資本主義組織の存続する限り、個々の日常闘争に於て成功する道理がない。その爲めには根本的な社會×命が必要である。日常闘争に於てこの方向へ爲し得る範圍は、總ゆる機會に生産機關の労働者による收×管理、即ち工場占領が俺達の×命闘争の具體的手段であることを明示して、その闘争へ習熟することである。×命的労働組合はそれ故に、その闘争スローガンに於て「工場占領」「労働者による生産機關の収用、管理」を高く掲げると同時に、ストライキ闘争を通じてこの方向に進むことが、最も正しき×命的闘争方法である。

三

我々は以上の×命的労働組合の闘争目標と、工場占領の意義といふ觀點に立つて、今回の日染ハンストの戦術を検討して見よう。このハンストがブルジョア新聞に報導されて三面記事的效果を充分に挙げた時、各派の労働團體からハンスト戦術に對する種々の批評が投げかけられた。左翼と稱する全協系から、灰色の加藤勸十派の大衆黨系に至るまで「ハンストは消極的戦術だ、労働者が一切の行動の自由を剝奪されてゐる時ならいざ知らず、未だ幾多の闘争の自由が残されてゐる時、ハンストに出て社會の同情に訴へるなどはブチブチ的战術だ」とホザいた。併しこの批判は日染ハンストの真相を全然知らず、而してハンストの最後の効果が充分に未だ擧がつてゐないハンスト第一週間前後の事態から速断した單なる概的批判である。若し日染のハンストが、彼等の説く如く、ハンストといふ戦術

によつて社會の人道主義的効果を規つての策戦であるとするなら、如何なる理由があるとも少くとも戰闘的労働者のストライキ戦術としては確かに消極的である。だが事實に於て、日染の場合はハンストのためのハンストでなく、工場占領の爲めのハンストである事を知らねばならぬ。

約四週間、二十四日間に亘つて帝都の真中に工場を占領し、資本家、官權をして生産機關に對しては一指を觸れしめず、完全に自分達の仕事場を守り抜いたと云ふ我國労働運動史上に於て劃期的な革命的成功が如何にして可能であつたか、それはハンストといふ戦術に出たからこそである。此處には一つの戦術がある、最初から工場占領といふ事を外部的に第一義に宣傳して、工場内に立籠つたとせよ。二十四時間内に資本と權力の同盟軍が、争議團を工場外に追ひ散らしたことは火を見るよりも明かであらう。日染の争議に於ては最初は單なるハンストの爲めのハンストの如く見せかけ、事實五十名にのぼる卒倒者を病院に送り出して人道主義的問題とした時、飽までハンストの名の下に、持久戦の陣形をとつて行商隊を組織し、工場内の戦闘員がこれ以上倒れないだけの營養流動物をとつたのである。この時になつて日染のハンストは眞の革命的戦闘の全貌を顯した。一般の社會は飽く迄ハンストの名に壓倒されてゐる間に、この工場占領の争議團の眞意を漸く看破して、焦慮し出したのが資本家である。工場占領がこの儘續く限り工場は解散の他はない。こゝにおいて警察、警視廳と共謀して暴力團を工場内に入れて喧嘩を賣り、それでも利かないので翌日は加工材料を持ち出し、その明る日

は道具の一部を運び出した。彼等は是等の挑戦的手段によつて争議團と暴力團の衝突を挑發し、それを契機として全争議團に遮二無二に抑壓の魔手を振はんとしたのである。而も争議團の工場占領ハンストといふ表面消極的な、而も最も積極的革命的闘争方法に對して、奴等は一指も争議團に觸るることが出来なかつたのだ。

ストライキ闘争としては幾多の手段と方法がある。武装だ、テロだ、デモだ、襲撃だ。だが是等の俗にいふ積極的戦術が、日染の場合に工場占領ハンストといふ闘争方法より、どれだけ優つてゐたといふことが出来るか。日染の資本家が、暴力團や町會の有志を手先にして、解決に焦慮しだしたその屈服の原因は、同志千葉浩の危急の生命に非ず、人道主義的社會の非難にたへかねたに非ず、ハンストの持つ積極性、工場占領の先行に對して屈服したものであることはハッキリ明言し得ることである。

戦術としてのハンストを検討する時、少くとも具體的事實に即して工場占領の闘争方法の検討を絶對に必要とする。ハンスト二十四日、見事なその團結力に、全日本の労働者農民一般無産階級に與へた異狀なる革命的鼓舞とその正しき闘争方法は、深く我國プロレタリアートが銘記し、今後の熾烈化して行く俺達の闘争の中に充分この經驗を生かして行かなければならない。

吾等はストライキ

闘争を如何に戦ふべきか

(六、七、三、發行
第拾貳號)

革命的労働組合に於ける日常闘争の意義に就いては、本紙第十一號主張に於ても簡單に指摘してあるが、今再び此處にこの問題をとらあげて再論せんとする目的は、過去數年來自由聯合主義労働組合戦線を混濁し續けて來た、全國自聯一派の觀念的日和見的なストライキ認識に對して、理論上、實踐上の最後の徹底的批判を加へて、この敗北主義に止めを刺さんとするにある。

全國自聯關係に於て最近可成りに大きな争議が二つ起つた。一つは芝浦労働組合の芝浦製作所争議であり、今一つは現在争議の真只中にある労働者自治聯盟のガス人夫争議である。芝浦製作所争議における惨敗、その闘争の無能無定見言語道斷なる結末は、實踐上における全國自聯のスト戦術が如何に大きな誤りを犯してゐるかを、何よりも明瞭に證明してゐる。

ガス人夫争議に於ては、争議團及び應援の瓦斯工組合迄が(自聯系)遂にその無定見なるスト戦術

に見限りをつけて観念論者の應援を拒絶し、我が自由聯合團體全國會議の旗の下に争議團を再編成し新なる意氣を持つて白熱化する闘争を續けつゝあるが、彼等全國自聯の名を濫稱する一部観念主義者が、遂ひに争議途中に旗を捲いてスゴ〜と争議團から引き擧げた姿こそ、我が國の自由聯合運動から彼等一派がコソ〜と自然消滅して行つた最後の姿だ。何故に彼等か斯かる實踐上の致命的なる過誤を犯したか、それは彼等観念論者の日常闘争に對する認識が革×運動の軌道から全然外れてゐるかである。

彼等は自稱純粹アナキズムを高唱し、サンヂカ的アナキズムの發展を邪道なりとして排撃してゐる。彼等観念論者は、自己流の革命運動といふ悲壯な言辭に自己陶醉して、その闘争が勞働者農民の日々の生活闘争と、全然別個の出發點から來る超階級的な正義觀に求めんとしてゐる。「日常闘争はパンのための闘争だ、アナキズムは人類解放の戦ひだ」と兩者を全然別個に切り離し、そして日常生起する具體的闘争をサボる。「俺達はやる時にはやるのだ」と自己偽瞞して無理に自分の氣持をこぢ付けてゐるが、果して「やる時にやれる」か、最後のやる時にはやるといつて、具體的な今日の問題を延期する彼等は結局最後迄もやれない敗北主義者だ。

闘争の中にこそ革×的發展があり飛躍がある。闘争のない處には如何に素晴らしい観念的辰氣樓が建設されようとも、固定と沈滞と自己破壊とのみが約束された道だ。彼等観念論者の中からは二つの

脱落の道がある。一つは自暴自棄になつたルンペン化へか、今一つはアナキズムに對する認識不足をアナキズム理論に押しつけて反動運動への轉落である。後者の道を辿つたものに佐藤榮三一派の愛國××運動、前者の道を辿つて自然消滅最後の過程を経過しつゝある全國自聯、黒聯、自由聯合新聞一部の徒がある。

彼等はアナキズムを滑稽して居る。だが彼等は斷じてアナキストではない。アナキズムは労働者農民の具體的な血みどろの闘争の中にこそ、存在し發展して行くことの出来る労働者農民の闘争理論だ。現實的な闘争から遊離し觀念的個人の頭腦に結晶されたものは固化したアナキズムの公式であり、生きたアナキズムに對して死填せんとする形體だ。この觀念論者の落行く墓穴は、今こそ全民衆が明瞭に指摘することが出来る。逃避か反動への轉落か。

闘争を通じて發展へ！アナキズムの本質は労働者農民の階級的解放思想として、實踐闘争を通して基礎づけられた。それ故に具體的な闘争のある處にのみアナキズムの發展はある。パンの爲めの闘争であるが故に、その闘争には全社會の根幹を突く革命的性質がある。現在の資本主義の最後の苦悶の時に際して、全民衆に襲ひかゝる合理化に反對して騒起せんとする労働者農民の闘争の中に、俺達の黒旗を進めずしてアナキズムの發展が何處にあるか。労働者農民は觀念だけでは斷じて革命的に動かないのだ。日常生活する全社會的な問題とは全然かけ離れた様に見へる、一片のパンの問題が

其れを闘つて行く時、俺達労働者はそれが一工場主、一資本家の問題でなく、全資本主義國家に對する闘ひでなければ俺達の勝利の見込のないことを明瞭に知る。一片のパンの問題を闘ふことによつて労働者農民は、百冊の本を読むよりも具體的に叛逆の精神を學びとる。これが最後の決定的な闘争への唯一の準備であり、明日の社會への約束された道だ。日常闘争は具體的なパンの爲めの闘争であると同時に、新しく労働階級を明日の戦ひに準備する唯一の階級的な學校だ。

ストライキを單なる一工場の労働条件を廻つた一片の労働争議に終らしめるか。それを全社會的な問題に結びつけて除々に階級對階級の正面衝突に迄發展さし、準備して行くか否かは、一に戰闘的労働組合のスト戦術に懸つてゐる。「一工場に於ける資本と労働との對立闘争は階級闘争ではない」「商品取引だ」「俺達のやる革命運動ではない」と斯かる認識を以てストライキを止む得ざるものとして、非積極的に成り行きに任せるスト戦術——全國自聯で芝浦、ガス人夫争議に於てやつた戦術——なら、ストに何等の意義ないことは餘りに明白だ。これはストに意義がないのではなく、このスト戦術に階級的意義が無い改良主義者、ダラ幹、ファシストのスト戦術だ。これこそ悪い意味の經濟主義であり、退嬰的敗北主義でなくて何だ。

戰闘的労働組合はストライキに當つて、争議の擴大へ〜と全社會的な問題に擴充せよ！妥協と取引以外に労働者に約束されてゐる勝利への道は擴大戦術以外にない。俺達はストとストとを地域的に

（刊近） 輯二第トツレフンバ新黒
術戦と織組の争闘キイラトス

- 一、ストライキの階級性
- 二、ストライキの二様の型態に就いて
- 三、ストライキ批判の基礎
- 四、ゼネラルストライキの意義
- 五、ストライキ戦畧と戦術の立方
- 六、一九三一年度に於けるストライキ闘争の意義
- 七、ストライキ闘争の組織
 - イ、労働組合
 - ロ、應援委員會
 - ハ、工代会議
 - ニ、應援團會議
- 八、ゼネラルストライキへ
 - イ、同一産業別ゼネスト
 - ロ、同一地域のゼネスト
 - ハ、同一資本系ゼネスト
 - ニ、全國的産業的ゼネストへ
- 九、ストライキに於る個々の戦術

黒新パンフレット第三輯（近刊）
青年労働者に訴ふ

- 一、資本主義制度に於ける青年労働者の地位
 - イ、資本主義經濟のクラクリ
 - ロ、青年労働者はどう搾られてゐるか
 - ハ、青年労働者と失業
- 二、青年労働者と帝國主義
- 三、青年労働者と戦争
- 四、青年労働者とブルジョア教化機關
- 五、青年労働者の任務
- 六、青年労働者と無産青年運動

（各册拾錢） 送料二錢
 所 込 申
 社 聞 新 農 勞 色 黒
 四三一町裏江猿區川深市京東
 番一六八二七京東座口替振
 （前金拂用） 振替利込

産業的に結びつけ、全労働者を闘争に捲き込んでこそ勝利の確信が持てるのだ。同一産業へ、同一資本系統へ、同一地域へストをアジリ、ゼネストを準備せよ！ここにこそパンの爲の闘争と革命的闘争の有機的な聯關がなり立つ。

争議をどの程度で打切るべきか、これも重大なる問題である。組織が破壊され、争議團が反動化する迄闘ふことは又眞のスト戦術ではない。だが解散、工場閉鎖の争議に於ては、俺達は最後の一人迄頑張らねばならない。たゞ次期に迫る争議に、更に徹底的闘争を豫期する時にのみ、一時組織強化の爲に一步退却することは一つのスト戦術である。

労働者は戦ふことによつてのみ明日の社會への闘ひの確信を持つ、日常闘争を通じてこの最後の闘争に民衆を準備することこそ自由聯合主義労働組合の任務である。

昭和六年八月十七日印刷
昭和六年八月二十日發行 (定價拾錢)

東京市深川區猿江裏町一三四

發行編輯
兼印刷人 白井新平

東京市深川區猿江裏町一三四

印刷所 黑新印刷所

東京市深川區猿江裏町一三四

發行所 黑色勞農新聞社

振替口座東京七二八六一番